

# 前 島 賞

独立行政法人宇宙航空研究開発機構  
SELENEプロジェクトチーム（代表：滝澤悦貞）殿

## 【月周回衛星「かぐや」による地球及び月のハイビジョン映像の取得】

あなた方は、日本放送協会ハイビジョンカメラチーム（代表 山崎 順一氏）とともに、月周回衛星「かぐや（SELENE）」を打ち上げられました。これは、アメリカにおけるアポロ計画以来の本格的な月探査機で、月の起源と進化の解明と月の利用の可能性の検討のための基礎データを取得することを目指しています。さらに、搭載したハイビジョンカメラにより月面からの地球の出等を撮影し、放送等を通じて広く紹介して、宇宙開発及び月探査の普及啓発をするとともに、地球環境の重要性を認識し、自然科学に関心を持ってもらうこともミッションとなっています。

21世紀になり、世界の宇宙研究・開発機関は次々と月探査機を打上げ、あるいは打上げようとしています。この中であって「かぐや」は21世紀の月探査時代の幕開けを飾るとともに最も優れた月の起源と進化の解明を目指す科学探査機として、世界から注目されています。

「かぐや」は平成19年9月種子島宇宙センターからH-IIAロケットにより打上げられ、10月、月を観測するための月指向3軸姿勢制御が開始され、観測機器の初期機能が確認されました。地球から月へ向かう途上、地球から約11万km離れた地点で「遠ざかる地球」のハイビジョン映像を取得しました。また、月周回100kmの軌道において極域などの月面及び月面からの地球の出、月面への地球の入りを撮影しました。10月以降、これらの映像を独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)のホームページで順次公開するとともに、NHKニュースや特集番組などハイビジョンでの放送が行われました。

ハイビジョンによる撮影が世界初であったこともあり、日本のみならず、世界中から大きな反響があり、高い評価を受けています。

特にあなた方は、ハイビジョンカメラを搭載した衛星の開発、ハイビジョンカメラの衛星への搭載、撮影計画立案、衛星の運用、地上局でのハイビジョンカメラデータの受信に貢献されました。

以上、宇宙開発並びに情報通信技術の進歩発展に貢献された功績はまことに顕著であります。

よって、当協会は、記念品（金一封）を副えて、前島賞を贈呈します。

平成20年3月11日

財団法人 逓信協会

会 長 左 藤

